



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
Tel (0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2019年8月会報 第366号

主 題 ・ 標 語

国際会長(I P) Jennifer Jones (オーストラリア)

主 題 より良い明日のために今日を築く Building today for a better tomorrow

標 語 さあ動こう On the MOVE!

アジア太平洋地域会長(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

主 題 アクション! Action!

標 語 誇りと喜びをもって With pride and Pleasure

西日本区理事(RD) 戸所岩雄(彦根シャトー)

主 題 風となれ、光となれ

副 題 こころ豊かにあるために、輝くために

六甲部長 柏原佳子(芦屋)

主 題 スピンネーカーの帆に風を集めて

宝塚クラブ会長 多胡葉子

主 題 ときめきライフをワイズ活動で!

今月のテーマ: Youth Activites

ユースの未来にワイズが描けるよう、YMCA の活動を通して、あらゆる機会のユースの可能性に手を差し伸べよう
荒川恭次 Y・サユース事業主任(名古屋グランパスクラ)

六甲部8クラブ納涼例会

日 時 : 2019年8月21日(水)
19時~21時(受付18時30分)

場 所 : ニューミュンヘン神戸大使館
神戸市中央区三宮町2丁目5-18
TEL 078-391-3656

会 費 : 5,000円

開会点鐘

ワイズソング

会 食
アピールタイム
その他

閉会点鐘

2019~2020

役 員

会長 多胡 葉子 直前会 青柳 美知子
副会長 石田 由美子
書記 若林 成幸
会計 小林 康男 堀江 裕一 吉田 明
会計監査 加藤 光信 今田 和子
連絡主事 谷川 尚
メネット連絡 福田素子
六甲部地域・環境主査 青柳 美知子

誕生日

多胡葉子(2日)
福家清美(28日)
若林弘子(28日)

7

月

実

績

例会出席者数 23名
在籍会員数 21名
出席会員数 17名
出席率 80%
メイクアップ(内数) 1名
メネット 0名
コメント・孫メット 0名、
ゲスト・ビジター 5名
例会充足率 109%

BFポイント 7月 4,678円
累 計 4,678円
にこにこBOX 7月 15,000円
累 計 15,000円
ファンド(物品販売)
累 計 0円

聖 句

この国は銀と金に満たされ、財宝には限りがない。
この国は軍馬に満たされ、戦車には限りがない。

.....

人間が卑しめられ、人は誰も低くされる。
彼らをお赦しにならぬように。

(イザヤ書 2 章 7,9 節)

随 想

毎年8月には、戦争と平和、そして私たちの国の未来について考えさせられます。これからわたしたちの国はどのような国となっていくのでしょうか。戦後の長きにわたって、私たちの国と社会のあり方を導いてきた「日本国憲法」を、改変するかどうか決めなければならない時が近づいています。そういう時代状況の中にも、預言者イザヤのこの言葉は、つねに本質を突いている。「財宝」と「戦車」を蓄えて繁栄と覇権を追求するような国では、いつもかならず「人間」が卑しめられ、低く扱われるようになる。いつの時代も、どこの国でも繰り返されている、そんな社会の現実を冷静に見抜いているのでしょう。そして、言い放ちます、「彼らをお赦しにならぬように！」。そんな国は神の裁きを免れないということです。

わたしたちの国が、ますますそんな国になっていくことだけは何としても防ぎたい。「財宝」や「戦車」ではなく、「人間」こそが尊ばれ、高められる国。それこそが我々が目指すべき未来に違いありません。

金田俊郎

7 月 第1例会報告

7 月は新旧役員交代の時。青柳前会長の挨拶・開会点鐘、ワイズソング、聖書朗読、祈祷といつも通りの流れで始まりました。会食前に役員交代。新旧役員として半数以上のメンが前に立ち、柏原佳子六甲部長により役員交代式が執り行われました。まず多胡新会長をはじめ新役員の宣誓、旧役員と新役員のバッジ交換と握手と無事に新旧役員が交代しました。早速、多胡新会長より新役員のメンバー紹介が行われましたが、新会長からは役員だけでなく全メンでの働きを求められました。引き続いて**柏原佳子六甲部長より部長訪問**の挨拶に変えて、新年度の六甲部について評議会で説明されたことを改めてお話いただきました。ひと段落したところで会食となりました。

会食後、まずゲストビジターとして、西宮 YMCA でリーダー会活動をしている、玉垣さんと村上さんからリーダー会の活動紹介が行われました。野外活動を 1 回行うにも子どものことや環境、ねらいをどうするのかということ何回も話し合っ下見もされて準備されている様子が紹介されました。報告後には、宝塚ワイズメンズクラブを代表して会長からリーダー支援のための活動のためのギターや野外活動備品の贈呈式が行われました。また谷川連絡主事からは YMCA 活動報告と維持会員としての支援の依頼も行われました。

そして 7 月例会としてのメイン行事となる総会が行われました。配布された資料を基に昨年度報告が若林書記より行われました。活動の証として、西日本区大会で賞された、武田メンへの EMC パートナー賞、またクラブへの広報優秀賞、青年会員獲得クラブ賞などたくさんの賞の披露も行われました。会計も例年なくよい決算になったと報告されました。監査報告も行われ、無事に承認されました。続いて、新年度の事業計画が確認されました。

多胡会長からは主題に対しての思いが説明され、若林メンからは新たな変化、特に S&C 委員会での議論を受けたことについての説明がされました。そのことも受けて各委員会代表から活動方針・計画の説明、そして吉田メンより予算案についての説明が行われ、これら承認をされ、新年度の歩みがスタートしました。



その後、誕生日のお祝い、その他報告が行われ、新会長の閉会点鐘で無事に新年度 1 回目の例会が終了しました。

谷川 尚

7月第2例会報告

7月17日(水)18時から7月第2例会と前会長のご苦労さん会を兼ねてラーメン「あ」で行われた。「あ」はバザー協賛をして頂く大切なパートナー企業である。

出席者は、多胡会長・青柳・石田・今田・加藤・風早・小林・鯖尻・武田・谷川・長尾・福田宏・福田素・福家・堀江・吉田・若林 計17名。予め準備されたレジュメに従い協議した。協議を終え、青柳前会長の種々のご苦労を思いつつ楽しい感謝会へと進んだ。議事要旨は次のとおり。

1. 8月例会について

8月は、六甲部8クラブ合同納涼例会が予定されているので、8月14日(水)18:30から西公民館にて第2例会を行い、8月21日(水)19時からの六甲部合同例会に参加する。会場は、三宮のビアホール「ニューミュンヘン神戸大使館」。

2. 9月、10月のスピーカーについて

9月例会に、元宝塚歌劇団演出家 草野 旦氏を、10月例会に、神戸で「小さいのちのドア」を営むマナ助産院院長 永原邦子氏を迎える。チラシを作成してPRを行う。

3. 他クラブ及び部会

8/3(土)19:00 さんだクラブ 花火例会、部会案内は下記参照。

4. 六甲部 EMC シンポジウム

7月29日(月)18:30 神戸 YMCA の参加者を確認。

5. はんしん自立の家支援活動

8月4日 18:30 夏祭りにフラとバンドで有志が参加。9月8日(土)キャンプファイア協力参加募集。

6. 第15回市民クリスマスの実施

当クラブの主催行事として最終に当たる第15回市民クリスマス実施(案)が提案された。コンサートの継続性が臨まれる中、過渡的な要素を含みつつ、宝塚厚生幼稚園の園児、PTA有志による「ゴスペル演奏」が加わる。また、合唱の練習会場が宝塚西公民館に変更される。

7. ブリテン8月号の編集

長尾メンにより8月号の編集内容等が説明され、寄稿分担等が協議された。

2019～2020 年度 各部部会開催日程

中部	2019年9月8日(日)	名鉄ニューグランド ホテル
びわこ部	2019年9月7日(土)	ホテルニューオウミ
京都部	2019年9月1日(日)	京都ホテルオークラ
阪和部	2019年9月16日(月・祝)	シティプラザ大阪
中西部	2019年10月5日(土)	茨木スカイレストラン
六甲部・瀬戸山陰部合同		
	2019年9月28日(土)	神戸ベイシェラトン ホテル&タワー
西中国部	2019年10月26日(土)	グランド プリンスホテル広島
九州部	2019年9月21日(土)	玉名温泉 ホテルしらさぎ

書記 若林成幸

青柳美知子ワイズ・会長ご苦労さん会

2018 年 7 月～2019 年 6 月までの 1 年間会長の役目を終えた青柳美知子ワイズのご苦労さん会が今年はチャリティーバザーの協賛企業の一つで有るラーメン「あ」で行われました。ご苦労様でした。

そして、今期会長となる多胡葉子ワイズ、よろしくお願い致します。



六甲部 Y サ・ユース事業 研修会

7 月 27 日に神戸 Y MCA 三宮会館で午後 4:00～5:30 に六甲部第一回の Y サ・ユース事業研修会が西日本区事業主任の荒川恭次氏を迎えて開催された。

六甲部の事業主査は神戸市ポートクラブの丹和和子ワイズだが彼女は骨折されたために急遽同クラブの水野雄二会長が変わって司会進行。宝塚クラブからも担当の武田壽子ワイズの代わりに多胡が出席、鯖尻ワイズは広報委員として写真を撮るための出席。

荒川恭次に事業主任、と大野勉元理事からの発題があったが双方ともに Y サ・ユース事業はワイズの目的である YMCA サービスに努めることで、ユースリーダーとの関係性を大切にしながら活動することであると強調された。



今期の六甲部として神戸 YMCA との協議活動は以下の 3 行事を支援することを確認した。

1. 11 月 4 日（月・祝）に開催予定のチャリティラン
2. 2 月 29 日（土）に予定の YYY フォーラム（2 月のピンクシャツデーとも重なる）
3. リーダー主催のユースフェストは 9 月 7 日（土）に開催されるが、ワイズ六甲部としてクラブからの支援金 1 万円の供出だけでなく出来るだけ参加をして支援することと申し合わせた。

その後、有志で荒川主任を囲み“みかみ”で交流のひと時を楽しんだ。

会 長 多 胡 葉 子

六甲部 EMC シンポジウム
に参加して

7 月 29 日、神戸 YMCA に於いて EMC シンポジウムに多胡葉子会長と共に出席しました。西日本区から EMC 事業主任、牧野篤文ワイズ、又 京都トップスの高坂訓ワイズのご参加を含め 総計 34 名の参加でした。プログラムは、牧野主任による講演『クラブ発展の事例』、六甲部 8 クラブによる『EMC・今年度の取り組み』の報告、ワイズ将来構想委員会・六甲部担当委員大野勉委員による『六甲部ワイズ起こし運動特別委員会の現況報告』を伺いました。

今後の益々 EMC 活動が活発になる力を得たように思いました。

鯖尻佳子



第 28 回アジア太平洋地域
大会に参加して

約 750 人の参加で盛大に開催された第 28 回アジア太平洋地域大会は、津波、原発の問題を抱えた仙台で開催された意味はとても大きいと感じ次の二点を報告する。

まず、1 日目の仙台 YMCA 村井総主事と東日本区担当の光永同盟主事の報告はワイズの被災支援の取り組みの素晴らしさであった。そして今回特別ゲストとして講演された村井嘉浩宮城県知事からは震災後の復興の取り組みの具体的な内容を感動を持って聞くことができた。

2 日目のエクスカッション。私は 4 グループの福島方面コースを選んだ。

福島第一原発 20km 圏内を走り、福島を知るコースであった。それらの地域は震災、津波の被害の上に原発という大きな人的被害をも被った三重苦を担われた被災地域である。福島県キリスト教連絡会で福島原発問題と取り組み被災者に寄り添っておられる牧師お二人と被災された方でその現状をしっかりと伝えるべき活動に取り組んでおられる方からの説明を受けながらのバスツアー。

バスの中に持ち込まれた測量器で現地に近づくとバスの中でも線量が上がり、警戒音になる。そ



してバスの中からの景色は 1) 除染されたが行き場がない汚染土のフレコンバッグの山々。2) 草原一面にはソーラ発電機が並ぶ。3) 道路を挟んで仕切られた汚染地域の帰宅困難地域と解除された地域。

震災、津波での被害からは町おこしはできてもこの原発による被災地域は先の見えない怖さを感じたエクスカッションだった。観光では学べない貴重な研修の場を与えられた。

インターナショナルなコンベンションゆえに日本国内はもちろんのことアジア地域、デンマークからも参加者があり、国際色豊かな交流はワイズならではの醍醐味であった三日間を過ごした。

会長 多胡 葉子



7月19日から21日まで仙台国際センターで被災地応援、「Action! 前へ進もう」と題して750名を超えるワイズメンの仲間が日本のみならずオーストラリア、香港、台湾、タイ、韓国、シンガポール、デンマーク、ブラジル、ハワイから集合した。開会式に先立ち仙台南高等学校合唱部のコーラスが会場を優しい雰囲気に取り囲みました。国際会長就任式に続き、村井嘉浩宮城県知事、危機管理研究所代表の国崎信江氏による家庭でできる防災の備えの提言や、村井伸夫仙台YMCA総主事の被災後のYMCAの取り組み、日本YMCA同盟の光永尚生主事による熊本地震後のワイズメンの取り組みなどについて一般公開された講演が行われた。

直前アジア太平洋地域会長主催晩さん会はさとう宗幸ミニコンサートの地元愛溢れる歌声に続き、東日本区のワイズメネットの雀躍りに、多胡会長も浴衣姿で加わり大いに交流した。

二日目は被災地を中心に4つのコースに分かれて21台の観光バスがエクスカッション出かけ、夜はAPナイトアジア太平洋地域会長晩餐会、ユースのダンス、各国の工夫を凝らした演出で会場は最高潮に盛り上がり、最後の東日本区全員の「花は咲く」の合唱には石田ユミさんのフラが添えられた。

三日目は日曜礼拝は渋谷弘祐牧師の説教のあと、IBC締結式が行われ、国際表彰及び各種報告、第29回大会(高雄)、第74回国際大会(デンマーク)のプロモーションがあり、田中博之会長の閉会に挨拶と山田敏明実行委員長の謝辞があり、閉会宣言・点鐘で幕を閉じた。

初めてマーシャルとして参加したが、東日本区のチームワークや、裏方の献身的な働きがこの大会を成功裏に導いたと改めて感じ学びの多い大会でした。

武田寿子

マーシャル報告

2010 年横浜IC、2015 年京都ACに続いて三度目のマーシャルで仙台ACを楽しみました。十分な人員が与えられるか少し気になりましたが相磯優子マーシャル委員長のもと、55 名が全国から集まり 3 日間の大会運営にご奉仕できた事は大きな感謝です。

私達、インフォメーション担当 11 名(宝塚からは武田寿子ワイズと 2 名参加)は初対面や旧知のメンバーを交えて会場案内、登録ヘルプなどユニフォームのピンクポロシャツで活躍しました。

今回は復興と防災が大きなテーマです。宮城県知事村井嘉浩氏、危機管理研究所代表国崎信江氏の講演を一般公開として、事前申込者も迎えての講演会でした。

突然、村井知事と国崎先生の来館をお迎えして欲しいと言われ、かつての仕事、VIP アテンドが復活！控室迄の動線、待機の位置など事前に確認して無事にミッションコンプリート。

村井知事は震災後いち早く大きな支援を提供した台湾代表のブースへ帰り際に寄られお礼を仰っていました。

マーシャルは楽しい、毎回思います。マーシャルにはもれなく交流と言う特典がボーナスポイントとして付いて来ます。今回もありがとうございました。



石田由美子



1.神戸YMCA大会感謝

6 月 29 日に総会をリニューアルして新しい試みとして神戸YMCA大会を開催しました。当日は例年通りの昨年度の事業報告など総会議事を行いました。その後 2 部として神戸YMCAの活動に関わっているリーダーや保育士などユースを中心とした分科会でYMCAらしさ、これからのYMCAについての懇談が行われました。ご参加いただいた方々、ありがとうございました。

2.神戸 YMCA ユースフェスご支援のお願い

かねてよりお伝えしていましたが、今年度より神戸 YMCA ユース委員会主催で、ユースが集い、ユースを、YMCA にかかわる人たちをエンパワーする集いとして「神戸 YMCA ユースフェス」を行うことになりました。今年は環境問題をテーマに語り合う時間を持ちます。ぜひ、ワイズの方々にもご支援ご理解いただくようお願いします。会自体は、9 月 7 日(土)神戸しあわせの村において「ノーダメージバーベキュー」と題して実践を伴いつつ環境のことを考える時間をユースが持ちます。

3.神戸 YMCA チャリティーラン参加者募集

今年も YMCA サービス委員を中心に協力いただいているチャリティーランですが、いよいよランナー募集を開始します。みなさんもですが、お知り合いの方などもぜひ声をかけていただき、参加の呼びかけをお願いします。今年度は 11 月 4 日(祝)しあわせの村にてとなっています。また案内配布しますがよろしくお願いします。

4.YMCA会費納入のお願い

7 月にもお時間をいただきご説明しましたが、ワイズの皆様は、西日本区定款第3条の2項にあるように、YMCAの会員になっていただくこととなっています。YMCAは年度が4月はじまりとなっていますので、まだ入会されていない方、新年度の更新を済まされていない方は、会費納入をお願いします。年会費は1年間 10,000 円(維持会員)からとなっています。何卒ご協力よろしくお願いします。

年会費納入のお願い

2019/20 年度 前期(7 月～12 月)会費の納入をお願いいたします。

金 額 20,000 円(青年会費は 10,000 円)
(銀行振込の場合)

銀行名 三菱 UFJ 銀行宝塚中山支店
口座番号 普通預金 4585836
口座名 宝塚ワイズメンズクラブ
(会計 小林康男)

2019-2020 宝塚ワイズメンズクラブ 事業・特別事業

事業委員		(委員長)		
	Yサ・ユース	武田 壽子	西川 勝久	
	地域・環境	青柳 美知子	風早 寿郎	井上 聖
	EMC	若林 成幸	鮎尻 佳子	
	広報・ブリテン	長尾 亘	福家 清美	重松 えみり
	交流・ファンド	福田 宏子	石田由美子	杉谷 和代
特別		(委員長)		
事業委員	NGO 連絡協議会	鮎尻 佳子	堀江 裕一	福家 清美
	じゃがいも	小林 康男	吉田 明	風早寿郎
	市民クリスマス	若林 成幸	吉田 明	長尾 亘
	〃	多胡 葉子	石田由美子	

9 月 11 日（水）宝塚ワイズゲストスピーカー

宝塚歌劇団演出家 草野 旦氏

演 題 「レビューから見た宝塚歌劇」

（プロフィール）

昭和 18 年 神戸市生まれ 甲南大学文学部卒

昭和 41 年 4 月 宝塚歌劇団入団

昭和 46 年 宝塚大劇場公演「ハレルヤ」で演出家としてデビュー

昭和 52 年 第 3 部ファンタジー〈夢人〉を担当した「ザ・レビュー」が
文化庁芸術祭優秀賞を受賞

平成 8 年 宝塚歌劇団理事就任

平成 19 年 兵庫県文化賞受賞



新鮮かつ伝統を忘れない独自の世界観を紡ぎ、オリエンタルでエキゾチックなショーやラテン系ムードの作品、ストーリー性を持つショーなど数々のファンタジックで華やかなショー作品を発表している。

海外公演においても平成 4 年のニューヨーク公演での作・演出に続き、平成 9 年初演ヒット作「サザンクロス・レビュー」を平成 14 年度第 2 回中国ツアー公演「サザンクロス・レビュー・イン・チャイナ」としてリニューアルして発表するなど、芸術を通じた海外親善にも貢献している。